



## 物理学第二教室 談話会

### 原子核半径研究の最近の進展

堀内 渉 氏

(北海道大学理学研究院)

日時:2020年12月3日(木) 15:00 ~ 16:30  
オンライン開催 (Zoom)

概要:

核半径は原子核の最も基本的な物理量の一つで、伝統的には電子散乱によって系統的に測られ、原子核密度の飽和性に代表される重要な知見が得られた。

近年の加速器技術の進展により短寿命中性子過剰原子核の半径測定が盛んに行われるようになり、原子核の物質としての性質、いわゆる核物性が調べられている。

本講演では中性子過剰核の半径研究に関連した最新の研究を紹介し、中性子数増加に伴う原子核構造変化と原子核半径の関係について議論する。

\*集中講義(12/2-4)の一環として行われます。

